

2019年10月3日

## 米 ISM 製造業景況感指数の悪化について

10月1日に発表されたISM製造業景況感指数が10年ぶりの水準に悪化したことを受け、NYダウは2日間で800ドル超の下落、日経平均株価は3日午前一時500円を越える下げとなりました。

ISM製造業景況感指数は代表的な先行指標の一つでマーケットの注目度が高く、米国株との連動が高いことでも知られています。

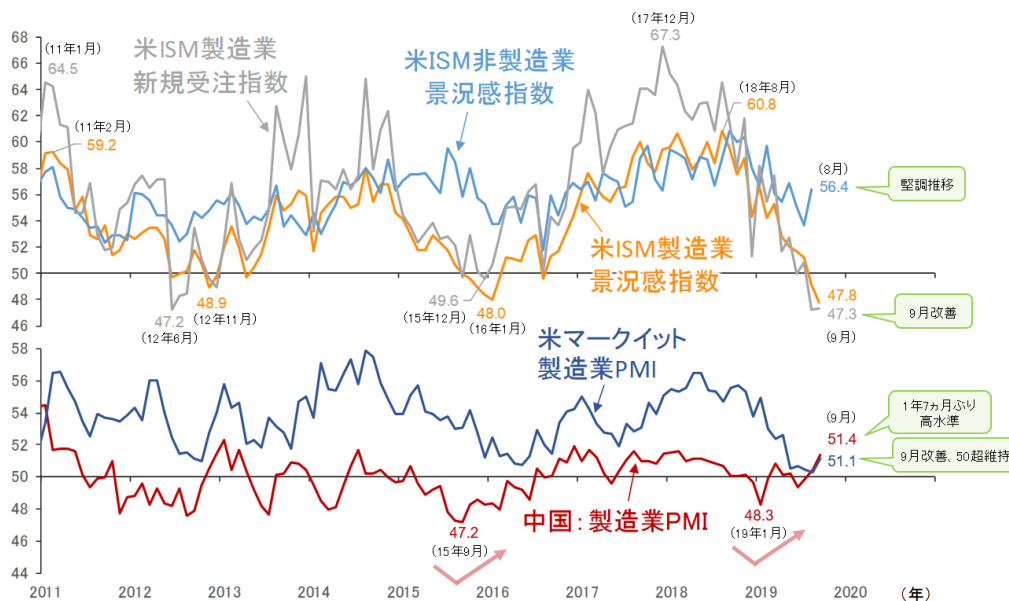
弊社では、景気の先行きを見極める為に、詳細かつ広範な指標を分析しています。

同指数の構成項目で先行性が高い**ISM製造業・新規受注指数**は9月に小幅改善しました。また、2016-17年の世界景気の回復局面で牽引役となった**中国製造業PMI**は今回も同国の金融・財政刺激策を支援に今年1月にボトムをつけ、9月には1年7ヵ月ぶりの高水準まで回復しています（図表）。

また、ISM製造業景況感指数に比べ内需企業の比重が高い**マーケット製造業PMI**は9月に改善し、分岐点の50超を維持しています。これは、米中通商摩擦の影響で輸出環境が悪化しているのに対し、米国内需は良好な雇用環境を背景に堅調な状態が続いている事の現れと考えられます。加えて、**ISM非製造業景況感指数**は8月56.4と高水準で推移しており、製造業から非製造業への調整の波及が今のところ限定的であることを示唆しています（図表）。

弊社では、このように先行性の高い指標が改善を示し、米国内需・非製造業への影響が限定的な中で、緩和的な金融環境が経済活動を下支えすることから、短期の景気循環は2020年に向けて回復過程に移行すると予想します。

図表：米 ISM 景況感指数と製造業 PMI



本資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。本資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します「投資信託目論見書（交付目論見書）」および一体としてお渡りする「目論見書補充書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。